

国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）

第 80 回総会

穂坂外務大臣政務官ビデオメッセージ

議長、御出席の皆様、

ESCAP（エスキャップ）が、今回 80 回目の総会を迎えることにお慶び申し上げます。また本年は、日本にとって、エスキャップ加盟 70 周年の記念すべき年でもあります。

改めて、エスキャップがアジア太平洋地域において果たしてきた役割について高く評価するとともに、アリシャバナ事務局長を始め、関係者の御尽力に敬意を表します。

我が国とエスキャップは、これまでアジア太平洋地域が抱える課題に対処すべく、緊密に連携してきました。

例えば、日本にある国連アジア太平洋統計研修所、シアップ（SIAP）においては、これまで各国から約 3 万 4 千人を対象に研修を実施し、各国の統計能力の構築を通じて、地域全体の経済発展に貢献してきました。

エスキャップが今後益々重要な役割を果たしていく上で、我が国は不可欠かつ重要なパートナーとしてさらに貢献していく考えです。

議長、

SDGs のすべての目標を包括的かつ統合的に解決していくためには、マルチステークホルダーの共働が不可欠であるとともに、革新的技術を最大限活用することが極めて重要です。AI を始めとするデジタル技術には、SDGs の達成を大きく前進させうる大きな可能性があります。

同時に、サイバーセキュリティや偽情報のリスクなど、新しい技術には負の側面もあります。人間の尊厳を守るためのデジタル技術を活用すべく、今年9月の未来サミットに向けて、今次総会において議論が深められることを期待しています。

また、こうした取組を進める上で、ジェンダーの視点の重要性も指摘したいと思います。

UN Women によれば、デジタル化から女性が排除されると低中所得国の GDP は1兆ドルの損失を被るとされています。イノベーションに対するジェンダーを包含したアプローチは、女性の権利と市民参加に対する認識を高めることができます。

こうした考えの下、エスキャップとも、ジェンダーと女性の参画を踏まえた連携を密にしていきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました。

(了)